

日本林業

● 2025年 11月号 ●

発行日: 2025年 11月 11日

発行: 一般社団法人 日本林業協会

〒 112-0004

東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階

TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932

編集・発行人 島田 泰助

協会からの
情報提供は

・一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

・会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祝日は
繰り下げ発行となります。

.....

目次:

| | |
|--------------------------------|--------|
| 林活地方議連全国連絡会議 令和7年度第3回役員会を開催 | 1 2 |
| 令和8年度 林野関係予算に関する要請書 | 3 4 |
| —キノシゴト NAVI — | 5 |
| 第29回 木材活用コンクール | 6 7 |
| 国会・業界 行事日程(10月) | 8 9 |

林活地方議連全国連絡会議
令和7年度第3回役員会を開催

11月7日（金）14時00分、『令和7年度全国連絡会議第3回役員会』が東京都文京区の『林友ビル中会議室』で開催されました。

総会では、市村仁会長（岡山県林活議連会長）の挨拶に続き、ご来賓の（一社）日本林業協会の島田泰助会長からご祝辞をいただいた後、市村会長を議長に選出して審議が始まりました。

30分ほどで予定された議案が質疑応答の後、了承されました。

役員会後には恒例の講演会が始まり、『森林・林業・木材産業を取り巻く最近の情勢等について』と題して、林野庁森林整備部長の齋藤健一様による講演が行われました。

その後、役員及び各県の林活議連事務局職員の計12名による要請活動に移り、自民党の衆議院議員6名及び林野庁長官・次長を訪問して、「令和8年度 林野関係予算に関する要請書」を市村会長から、田野瀬太道林政対策委員長ご本人ほか各秘書及び長官・次長秘書に手交し全ての予定を滞りなく終えました。



祝辞を述べる島田会長

齋藤森林整備部長による
講演の様子

市村議長による役員会の様子



田野瀬林政対策委員長に「要請書」を手交
(左から) 鈴木県議 (和歌山)、内田監事 (鳥取)、川口幹事 (秋田)、
田野瀬委員長、市村会長 (岡山)、村下副会長 (岐阜)、小林幹事長 (岡山)

令和8年度 林野関係予算に関する要請書

森林・林業・木材産業を巡っては、人工林資源が本格的な利用期を迎えており、これまでの取組によって、国産材の供給量が拡大し国産材率も40%超が継続してきていますが、ウッドショックの影響が残るとともに、低迷する再造林率や林業従事者の待遇改善に大きな進展が見られず、全体として停滞気味の現状が続いています。

一方、2050年ネット・ゼロの実現に向けて我が国最大の吸収源として森林・木材の最大限の貢献が求められる中、官民が一体となり、再造林の確実な実施等の課題を克服し、持続性が担保された木材の供給・利用を進めていく必要があります。

さらに、近年、昨年元旦の能登半島地震をはじめとする地震災害や線状降水帯による局地的な豪雨、大型の台風、地震の頻発等により、全国各地で大規模な山地災害が頻発しているほか、大規模な林野火災も頻発しており、国土強靭化対策としての森林整備・治山対策の重要性が一層高まっています。

加えて、社会問題と言える花粉症に対応し、スギ人工林の伐採・植替え、スギ材の需要拡大等の花粉発生源対策の推進が強く求められています。

については、森林資源を循環利用し、全国で街の木造化を進める「森の国・木の街」づくりに向けて、林道等のインフラ整備、機械化、林業担い手対策等を推進し、2050年ネット・ゼロや国土強靭化、地方創生や循環型社会の形成、さらには花粉症対策にも資するよう、森林・林業・木材産業施策の総合的かつ計画的な推進に向け、次の事項の実現を強く要望します。

1 持続的な林業経営の確立、国産材の安定的・持続的供給体制の強化、木材需要の拡大

持続的な林業経営の確立に向け、林道等の路網や高性能林業機械、森林資源情報など生産基盤の整備や木材加工流通施設の整備などによる国産材の供給力強化に向けた取組を進めること。また、木造住宅や木造公共施設等の木造建築の振興のほか、JAS構造材やCLT等の木材利用、クリーンウッド法改正も踏まえた合法性の確認された木材等の利用の促進、木材利用による温室効果ガスの排出削減の「見える化」の促進、木質バイオマスの熱利用等の推進、付加価値の高い木材製品の輸出促進などによる国産材の需要拡大、街の木造化を進めること。これらの川上から川下までを通した総合的な対策を強力に推進すること。

2 森林の経営管理の集積・集約化の推進

令和8年度からスタートする改正森林経営管理法に基づく森林経営管理制度の円滑な運用や境界明確化の促進、森林環境譲与税の有効活用のための市町村への支援に引き続き取り組むとともに、市町村の事務負担の軽減や所有者不明森林に係る手続の迅速化等、小規模・分散の所有実態を踏まえ、集積・集約化の一層の推進を図ること。

3 森林資源の循環利用や国土強靭化に向けた森林整備・治山対策の加速

森林吸収源の機能強化、林野火災対策を含む国土強靭化、森林の集積・集約化の加速化に向けて、間伐、再造林や林道の開設・改良等を進めるとともに、荒廃山地の復旧対策はもとより、山腹崩壊・流木・土石流対策等の事前防災・減災対策を一層推進するため、森林整備・治山対策の予算を十分に確保すること。さらに、これらの対策を着実に実施するため、事業の円滑な発注及び施工体制の確保に向けて取り組むとともに、新たに策定された「第1次国土強靭化実施中期計画」を踏まえ、森林整備・治山対策を切れ目なく計画的かつ着実に実施

すること。

4 林業・木材産業の担い手の育成・確保

森林の経営管理に責任を持って取り組む者の育成・強化を更に進めること。「緑の雇用」事業等による林業従事者の育成・確保や労働安全対策の強化等の取組を一層推進とともに、林業大学校等における人材育成への支援、技能検定の更なる推進、外国人材の受入体制の整備など、多様な担い手の育成・確保の取組を推進すること。

5 花粉発生源対策の推進

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化や必要な路網整備の推進、花粉の少ない苗木の生産拡大、スギ材製品の需要拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保等を図ること。

6 スマート林業等の推進

林業収支のプラス転換に向け、エリートツリー等の生産拡大、レーザー計測等の活用による森林情報の精度向上・高度利用、林業機械の自動化・遠隔操作化技術の開発・実証や実用化、木材利用と木材の生産・加工との間の情報交換・連携による歩留まり向上、地域一体となって林業活動にデジタル技術をフル活用する取組への支援など、スマート林業・DXの実装に向けた取組を推進すること。

7 山村の活性化

森林・林業の担い手である山村地域の活性化のため、地域住民とともに都市部の企業などの関わりも増加するよう、NPO、自伐林家等の多様な主体による里山林の整備活動、森林空間利用や企業の森林づくり活動等の森業への支援を充実するとともに、半林半Xの取組の促進、近年増加する集落での獣害や松くい虫等の病虫害に対する支援、バイオマス資源の有効活用、特用林産物の生産振興支援等の強化・拡充に取り組むなど、山村振興対策の充実を図ること。

8 国有林の役割の發揮

地域の森林・林業・木材産業に大きな役割を果たす国有林については、多様な森林整備や国土強靱化対策等を着実に実施するとともに、民有林材需要の減退を招かないよう地域の需要動向等を踏まえた弾力的な木材供給を行うこと。

木力 もくりょく
で未来を作れ!

—キノジコトNAVI—
木材業界を体感する

OPEN COMPANY
オープンカンパニー

参加学生募集中! 2025年9月 > 2026年3月



日本木材青壮年団体連合会

全国の木材・林業に携わる先進企業が集まる!
意外と知らない!? こんなに多くの仕事があります!

木材流通業・木材市場

林業・素材生産者

製材所

木工所

デザイナー

木材ソリューション

プレカット工場

工務店

サポート業務

設計士

先輩社員の“働くリアル”を知ろう!

オープンカンパニーでは、業界の現場で働くリアルな姿を見ることができます。「仕事内容は?」「休みは取りやすい?」「社内間の交友関係は?」など、各社さまざまなテーマでオープンカンパニーを用意しています。

更に、企業のトップとも話す機会もあるかも!?一度、木材・林業業界に興味をもって、参加しませんか?皆さんと会える事を楽しみにしています。



| | |
|------|--------------------------------------|
| 実施期間 | 2025年9月～2026年3月 ご都合に合わせて、いつでもどうぞ! |
| 実施場所 | オープンカンパニー受け入れ先となった企業 |
| 実施内容 | 木材・林業の仕事について、職場作業体験、現場見学など |
| 応募条件 | 専門分野に関係なく、どなたでも大歓迎です! |
| 応募締切 | 2026年2月 |
| 参加費 | 無料 ※体験に必要な装備は受入先が準備します。 |

お問い合わせフォームより
お申込みください。

※お申込内容をもとに
ご希望の経験体と調整しますが、
ご希望に添えない場合があります。
ご了承ください。

詳しくはこちら!



製材業A社 2024年入社(大卒)

自分のやりたいことはこれだ!ヒオープンカンパニーで製材業の面白さを感じて入社を決めました。2日間の職場体験でしたが、絶対にこれから入ってくら後輩たちには参加していただきたいです。

木材流通業B社 2023年入社(高専卒)

オープンカンパニーに参加して、職場で働くイメージが出来ました!入社後も仕事へのギャップもなく、オープンカンパニーで出会った社員さんとも顔見知りになれていたので、スムーズに入社できました。

お申込み

主催:日本木材青壮年団体連合会

運営:bundle委員会

木材活用コンクール

農林水産大臣賞
「エバーフィールド木材加工場」
©YASHIRO PHOTO STUDIO

第29回



林野庁長官賞
「meet tree GINZA」
©Masao Nishikawa



JBN・全国工務店協会会長賞
「京北の木材で大工の卵たちと造る
磨き丸太方杖のある木造倉庫」
©山田 圭司郎



第4部門賞
「Fat Wood Shoji / 肥松の障子」
©Muneji Toh Architects

上記写真は第28回木材活用コンクールの受賞作品です

主催: 日本木材青壮年団体連合会 特別協賛: 株アンドバッド 協賛: 一般社団法人 JBN・全国工務店協会、JKホールディングス(株)
後援: 農林水産省、国土交通省、公益財団法人 日本住宅・木材技術センター、一般社団法人 全国木材組合連合会、公益社団法人 日本建築家協会、
一般社団法人 日本建築学会、一般社団法人 日本インテリアプランナー協会、公益財団法人 日本デザイン振興会、
公益社団法人 日本建築士会連合会、一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会、一般社団法人 JBN・全国工務店協会

木材活用
コンクール
公式サイト



第29回 木材活用コンクール 暮集要項

応募部門

- A-1部門** | 木造(混構造も可)または内外装木質化を実施した建築物(延床面積300m²以上)
- A-2部門** | 木造(混構造も可)または内外装木質化を実施した建築物(延床面積300m²未満)
- B-1部門** | 木製品(家具、玩具、建具、遊具など、木材の部分的利用も可)
- B-2部門** | 木材活用プロジェクト
(国産材の需要拡大や高付加価値化に向けたソフト事業)

※A-1部門とA-2部門をA部門、B-1部門とB-2部門をB部門とします

表彰

- 最優秀賞** | 2作品 農林水産大臣賞(1作品) 国土交通大臣賞(1作品)
- 優秀賞** | 10作品 林野庁長官賞(2作品) 公益財団法人日本住宅・木材技術センター理事長賞(2作品) 一般社団法人全国木材組合連合会会長賞(2作品) 一般社団法人日本インテリアプランナー協会賞(1作品) 一般社団法人JBN・全国工務店協会会長賞(1作品) 日本木材青壮年団体連合会会長賞(2作品)

特別賞

- 2作品 DX賞(2作品)
・その他の部門賞(4作品)、木材活用賞(4作品)、日本木材青壮年団体連合会の会員が選ぶ「木質開拓賞(1作品)」などを加え、総計23点を予定。受賞者は賞状が授与されます。
- 注意事項** - 応募作品は返却できませんので、あらかじめご了承ください。・第三者の著作権、工業所有権、知的財産権を侵害するなどと判断されたものは、受賞結果発表後でも受賞を取り消すことがあります。・応募作品の発表に関する権利は主催者側が保有します。(但し、当コンクールが継続的に開催されている場合に限ります)。・応募者の個人情報は、厳重に管理し、運営上の連絡や資料等の発送のためのみに利用します。・応募書類の仕様書審査については応募内容が真正なことを前提に行います。・受賞作品の所在地を作品広報のために木材活用コンクール公式サイト(<https://mokusei.net/mkc/>)に掲載させていただきます。(なお、一般住宅や、所在地を公表する事で個人のプライバシーを侵害する可能性のある作品の所在地掲載はいたしません。)

審査基準

応募される資料を対象に、下記の項目などを考慮して審査いたします。

- 木の良さが活かされているもの
- 木材の新しい用途の普及に寄与するもの
- 建築物の木造化、木質化に波及効果があるもの
- 木材の利用を通じて豊かな暮らしや社会を実現するもの
- 木材の地球環境貢献効果が情報発信されているもの
- 未来の山を創るために、木材を巧みに利用したものの
- 設計施工、流通、加工等に関してデジタル技術を用いた革新的なもの

応募資格

応募物件の設計者、施工者、建築主、またそれらの合同。及び応募作品のデザイン事業者、生産者、販売者、エンドユーザー(所有者・当事者)。ただし、相互に了解を得ていること。また、連名での応募も可能です。

応募条件

A-1・A-2部門 |

建設・設置地域は国内とし、令和4年1月1日～令和7年12月31までに完成したもの

B-1部門 |

令和7年12月31までにユーザーが購入または利用できるもの

B-2部門 |

令和4年1月1日から令和7年12月31までに実行したもの

審査委員会

審査委員長 深尾 精一 首都大学東京(現 東京都市立大学)名誉教授

| 審査委員 | 秋吉 浩気 | VUILD株式会社 代表取締役CEO |
|------|--------|---------------------------------|
| | 池田 靖史 | 東京大学 工学系研究科建築学専攻 特任教授・建築情報学会 会長 |
| | 大島 敦仁 | 国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長 |
| | 大西 麻貴 | 大西麻貴+百田有希/o+h共同主宰・横浜国立大学大学院 教授 |
| | 川原 聰 | 林野庁 林政部 木材産業課 木材製品技術室長 |
| | 霜野 隆 | 一般社団法人日本インテリアプランナー協会 顧問 |
| | 竹村 優里佳 | Yurica Design & Architecture 主宰 |

| | |
|--------|---------------------------------------|
| 中島 史郎 | 宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 教授 |
| 長谷川 泰治 | 日本木材青壮年団体連合会 会長 |
| 宮澤 俊輔 | 公益財団法人日本住宅・木材技術センター 理事長 |
| 安成 信次 | 一般社団法人JBN・全国工務店協会 会長 |
| 山代 悟 | ビルディングランドスケープ 共同主宰・芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授 |
| 若杉 浩一 | 武蔵野美術大学 造形構想学部 教授 |

(五十音順)

応募方法

日本木材青壮年団体連合会ホームページ内、木材活用コンクール公式サイト(<https://www.mokusei.net/mkc/>)から応募してください。

■手順

①事前準備

応募登録を始める前に上記木材活用コンクール公式サイトからダウンロードした「応募用紙」(Excel)に必要事項を記入したファイルと「作品データ」(PDF)を用意してください。

■「応募用紙」(Excelファイル)について

・所定の申込み専用紙をダウンロードしていただき、必要事項を記入したものとします。

・応募用紙の記入については、記入例をご参照ください。

※使用木材について、できるだけ詳しく記載してください(材種、寸法、JAS製品、合法木材、地域認証材など)。

■「作品データ」(PDF ファイル)について

・自由フォーマットとしますが、作品名称、図面(建築物の場合は平面図、断面図を必ず載せてください)、写真、主旨説明文(600字以内)を、A2サイズ(420mm×594mm、横置き)1枚に構成したものとします。

・データ容量は10Mバイト以内とします。

※PDFファイルはパソコンでの予備審査、及びプロジェクトへの最終審査に使用します。

※PDFデータ作製にあたり、必ず、画面の拡大・縮小を行なっても文字データが読める形式で作製をお願いします。

※審査の公平を期すため、作品データ内、応募用紙の主旨説明文等に設計者、施工者が特定できる情報の記載はご遠慮ください。Ex)社名、屋号、口印等

②応募登録

上記木材活用コンクールのページから「応募登録ページへ」をクリックし、「応募登録」ページへ移動してください。「応募登録」ページにて必要事項を入力し、「応募用紙」(Excel)及び「作品データ」(PDF)をアップロード後、「確認」ボタンをクリックしてください。

正常に登録完了すると、「応募情報受付画面」が表示されます。以上で応募登録

は完了です。

※登録を中止する場合は、【キャンセル】ボタンをクリックし、登録作業を中止してウインドウを閉じてください。

③登録受付通知メール

応募登録が完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に登録通知メールが届きます。

※応募受付通知メールが届かない場合は、お手数ですが事務局にお問い合わせください。

※応募受付メールは重要ですので削除せず大切に保管してください。

④応募者専用ページについて

登録受付通知メールに記載されていた応募者専用ページにアクセスし、ID、パスワードを入力でログインします。ここでは応募登録いただいた内容の確認や修正が可能です。※変更できない項目もあります。

募集期間

令和7年12月1日～令和8年1月15日

※1月15日当日受信まで有効

結果発表

結果発表は、令和8年4月上旬頃にプレスリリースにより行う予定です。

表彰式

表彰式は、令和8年6月13日(土) 日本木材青壮年団体連合会 第71回全国会員関東大会(東京都内)にて行う予定です。

※受賞作品は事務局で印刷しA2サイズのバネルを作成します。ただし、データ解像度の内容によっては、新たに印刷用のデータを提出していただく場合もございます。

お問合せ先

日本木材青壮年団体連合会 木材活用委員会 委員長 外山 勝浩
木材活用コンクール事務局

〒135-0041 東京都江東区冬木6-14 飯沼ビル102 TEL:03-5620-4806 FAX: 03-5620-4809 MAIL: mkc@mokusei.net

令和 7年 10月 国会の動き

《国会関連》

- 21日（火）衆・本会議
内閣総理大臣の指名ほか
21日（火）参・本会議
内閣総理大臣の指名ほか
24日（金）衆・本会議
所信表明演説ほか
24日（金）参・本会議
所信表明演説ほか

令和 7年 10月 業界の動き

「ドマップ」策定スケジュールを承認

- ↗ 9月30日（火）SGEC/FSCジャパン
「森林・林業基本計画への要望書」を
林野庁長官に提出
10月1日（水）～2026年2月15日（日）
全国森林レクリエーション協会
「第38回美しの森づくり活動コンクー
ル」の推薦募集を開始
10月2日（木）大分県日田市
大手ログハウスメーカーの（株）アー
ルシーコアと木造化推進法に基づく
「木材利用促進協定」を締結
10月3日（金）民間建築物等における木材利用
促進に向けた協議会（ウッド・チエ
ンジ協議会）
都市の木造・木質化に関する進捗状
況及び小グループを中心とした同協
議会の取組み状況を検証
同 上 伐採搬出・再造林ガイドライン全国
連絡会議
8回目となる「伐採搬出・再造林ガイ
ドラインサミット秋田大会」を開催
10月4日（土）岩手県住田町
「クップ・ジャパン・オープン2025」
を開催
同 上 宮城県
「第48回全国育樹祭」を開催
10月～2026年2月 全国森林組合連合会
「林業就業支援講習会」全国21都道府
県で開催
10月10日（金）木材利用推進協議会
今年度の「木材利用推進コンクール」
の受賞作品を公表
10月14日（火）米国政府
針葉樹の丸太と製材品の輸入に10%
の追加関税を課す措置を発動。木製
品等の輸入に25%の追加関税を開始。
10月16日（木）林野庁
新たな治山対策のあり方を議論する
有識者検討会を設置
↗ 10月18日（土）長野市

令和 7年 10月 業界の動き

9月2日（火）農林水産省

林政審議会に「森林・林業基本計画」
の見直しを諮問

9月10日（水）（株）AQ Group（埼玉県さい
たま市）
中大規模建築物の全国普及を目指す
「共創ネットワーク（通称：ともつく
ネット）」を設立

9月11日（木）・12日（金） 中部森林管理局
9月25日（木）・26日（金） 広葉樹林の更新をテーマに現地検討
会を開催

9月14日（日）愛知県
3回目となる「あいち伐木協議会
2025」を開催

9月17日（水）・19日（金）伊勢神宮内宮・外宮
長野県上松町内・岐阜県中津川市内
の国有林
式年遷宮（2033年）に向けた「御船
代祭」を挙行

9月25日（木）北海道滝上町
地元産認証材を使用して建設が進め
られていた国民保険診療所が竣工・
開業

9月29日（月）日本政府
CLT（直交集成板）の普及のための
2026年度を始期とする「第4次ロー

令和 7年 10月 業界の動き

「ながの森林・林業フェア2025」を開催
10月22日（水）新潟県

「中大規模木造建築普及セミナー」を
開催

10月25日（土）福島県

「第50回福島県林業祭」を開催

同 上 ～26日（日）

東京都木材組合連合会

「第42回木と暮らしのふれあい展」を
開催

10月28日（火）・29日（水）岐阜県

「ぎふ森の機械展」を開催